



沖縄県
南城市

ユインチホテル南城

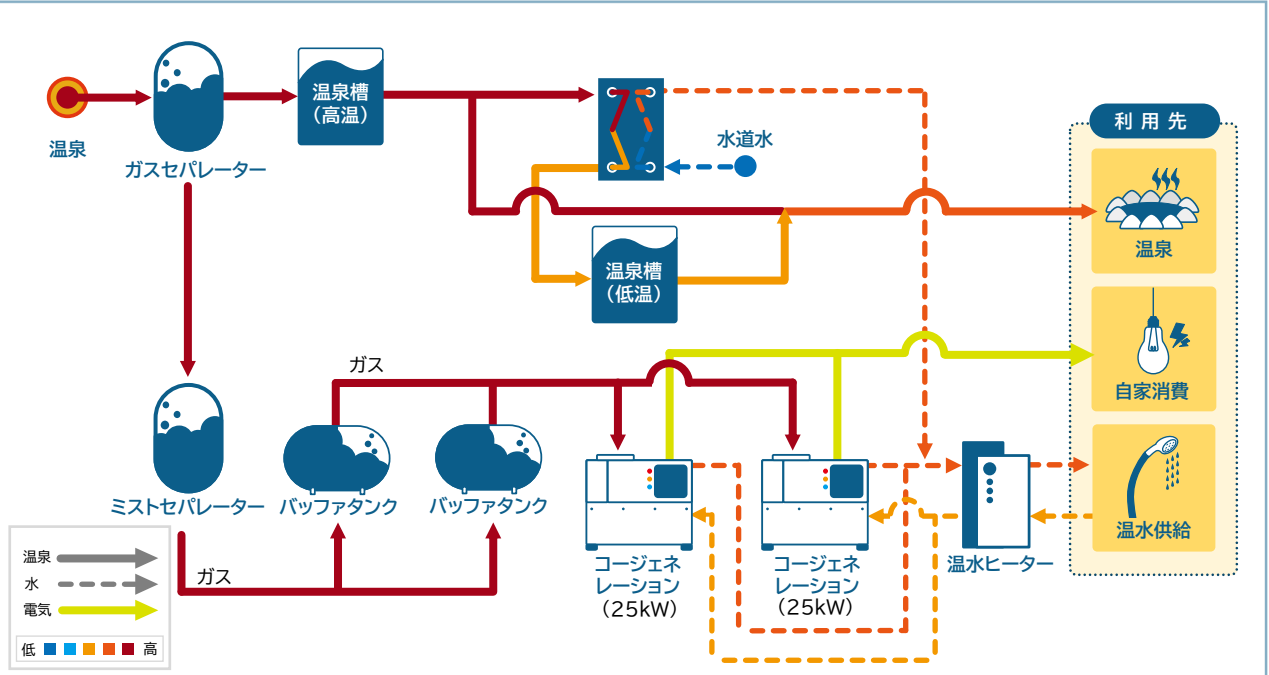


概要

温泉に付随して発生する可燃性天然ガスを利用した、ガスコージェネレーションシステムを導入し、電力と熱を生成している。生成された電力はホテル内照明や動力に利用し、生成された熱は給湯ボイラーの熱源水として利用している。
また、重油ボイラーへの給水(水道水)を天然ガス鉱山の坑内水(温泉)(約50℃)で熱交換し、プレヒーティングしている。この熱交換により作った温水は、浴室シャワーなどに利用している。



泉 質	塩化物泉	CO ₂ 排出量削減効果	ランニングコスト削減効果
熱利用温度	-℃(可燃性天然ガス)	333 t-CO ₂ /年相当	590 万円/年相当
利用温泉	新規温泉	削減 ※1	削減 ※1
総事業費	8,300万円(一部補助金あり)		

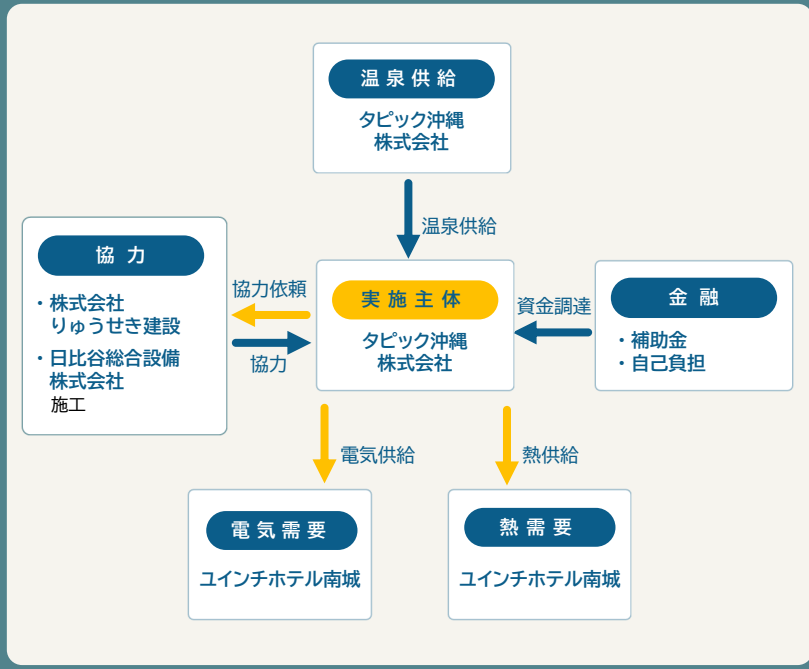


主な温泉熱利用方法

※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※ 1: CO₂ 排出量削減効果、ランニングコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値です。

実施体制



事業検討の流れ

